

# 審査要領

## マーチングバンド編成審査規定 ★ 全ての区分・部門共通 ★

### 1. 審査委員長・審査員・テクニカルアドバイザー

#### (1) 審査委員長

- ① 審査委員長は1名とし、審査全般の最終確認を行うとともに、審査審判を円滑に遂行する。

#### (2) 審査員

- ① 審査員は7名とし、演奏の技術・動きの技術・全体的効果を総合的に審査する。

※ 参加国から各1名としその他国内審査員とする。

- ② MDを使用したリアルタイム審査を実施する。

#### (3) テクニカルアドバイザー

- ① テクニカルアドバイザーは5名とし、キャプションごとに専門的な講評を行う。

なお、この講評は審査結果には反映されない。

- ② キャプションは下記の5キャプション

ア. 全体効果

イ. 管楽器の技術

ウ. 打楽器の技術

エ. 動きの技術

オ. カラーガード

- ③ MDを使用したリアルタイム講評を実施する。

### 2. 成績・成績判定・表彰

#### (1) 成績

- ① 各審査員は上記1の(2)に基づき100点法(小数点なし)で採点する。
- ② この採点の合計から審査員7名の平均点を算出しそれを各団体の得点とする。

#### (2) 成績判定(順位の決定)

- ① 区分および部門ごとに得点の高いものを、上位とする。
- ② 得点が高点の場合は、同位とする。

#### (3) 表彰

- ① 全団体に上位より大旨、金賞(3):銀賞(4):銅賞(3)を授与する。
- ② 組織委員会又は大会実行委員会の決定により特別表彰を授与する場合がある。

# マーチングバンド部門審査内容

## 演奏の技術

### 〔管楽器の技術〕

- ・音程  
呼吸法が訓練され、正確なピッチコントロールを生み出しているか。
- ・音色  
音質が豊かで繊細かつ力強い多彩な音色が保たれているか。
- ・フレージング  
楽曲の流れ通りの表現が維持され違和感なく演奏されているか。
- ・アンサンブル  
ブレスサポートを駆使して、p（ピアノ）やfff（フォルテシシモ）を演奏する場合もブレンド感とバランスが保たれて美しい響きで演奏されているか。

### 〔打楽器の技術〕

- ・打法  
グリップ、フォーム、スティックハイトが正確に統一されているか。
- ・チューニング  
同じ楽器間で個々のピッチがいかに正確か。
- ・バランス  
奏法が統一されており楽曲に対する配慮が行われ、個々の音色、音量に差がなく、全体的なアーティキュレーションが統一されているか。
- ・ピット  
ピット楽器の使用がより適切で効果的か。

### 〔音楽の効果〕

- ・音楽表現  
演奏者による作品の理解が出来、観客に作品の意図を伝える事が出来ているか。
- ・バランス  
音楽効果と視覚効果が調和されているか管楽器と打楽器との組み合わせに調和や変化を感じさせるか。
- ・合奏の完成度  
内容を把握し、ミスやエラーのない演奏になっているか。

## 動きの技術

- ・フットワーク  
フォワードマーチ、リアマーチ、マークタイム、ターン方法等が統一されているか。
- ・姿勢  
姿勢等が統一されているか。

- ・ポジションワーク  
列を揃えるにあたり、揃える基準を理解しているか。  
また、フォーメーションの中で間隔（インターバル、ディスタンス）の取り方を理解しているか。
- ・ボディーワーク  
演奏されている音楽に適した表現がされているか。
- ・楽器の操作  
演奏演技を行うにあたり楽器や手具等が適切に使われているか。
- ・手具の操作  
手具の扱い方、また、振付けが音楽に適した表現をされているか。
- ・完成度  
上記の動作が正確に行われ、タイミングが揃っているか。

## 全体的効果

- ・音楽と動きの調和  
音楽の流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化がありその音楽の流れに視覚効果が調和されているか。
- ・集団美  
演技者のショーマンシップは常に強く発揮され、統一された動きで表現されているか。
- ・表現力  
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
- ・完成度  
内容を把握し、ミスやエラーのない演奏演技になっているか。